



これからの時期に増える草刈り！ 灯油配管の破損にご注意を！！

例年、沼田町内においてホームタンク配管周辺の草刈りを行う際に、配管を破損したことによる灯油流出事故が発生しています。原因として、草が茂っているところに配管が隠れてしまい、誤って破損させてしまうという事例が多くあります。



油が用水路や河川に流出すると農作物などに大きな被害を及ぼすとともに、回収及び流出拡大防止措置を実施しなければなりません。

油流出事故を起こさないため、草刈り作業の際には今一度配管場所の確認をお願いいたします。

油流出事故を防ぐために・・・

- 灯油タンク及び配管の付近は^{かま}鎌を使用し、**手作業**で行ったり、**手でむしる**など慎重に行うこと。



▲ 配管が切断され灯油が漏れている

油流出事故が発生したら・・・

- 元栓を閉め、受け皿を置くなど油の流出を止めましょう。
- 油を水で流すと被害が拡大します。絶対に水で流さないでください。
- 油を流出させてしまったり、発見した場合はすぐに沼田消防にご連絡をお願いします。

スプレー缶による火災にご注意を！！

スプレー缶は、殺虫剤やヘアケア用品など、私たちの生活の様々な場面で使われています。しかし、スプレー缶には可燃性の高いガスが使用されており、取扱方法を誤ると火災が発生する恐れがあります。

沼田町の廃棄方法を守り、スプレー缶による火災を未然に防ぎましょう。

「スプレー缶が関係する火災事例」

case.1 【ガス抜き中に火災】

処分するため屋内で中身の入ったスプレー缶に穴をあけてガス抜きをしていたところ、近くで使用していたガスコンロの火が引火し火災となった。

case.2 【ごみ収集車から出火】

不燃ごみの中にガス抜きのされていないスプレー缶が混ざっており、ゴミ収集車のゴミを取り込むための回転板に挟まれた際の衝撃火花で引火し火災になった。

- ※ 廃棄の方法は沼田町のごみの区別と出し方を参考にしてください
- ※ 破棄する際は火気のない屋外で、**必ず中身を出し切ってから穴を開けず**、燃えないゴミとして処分すること。

